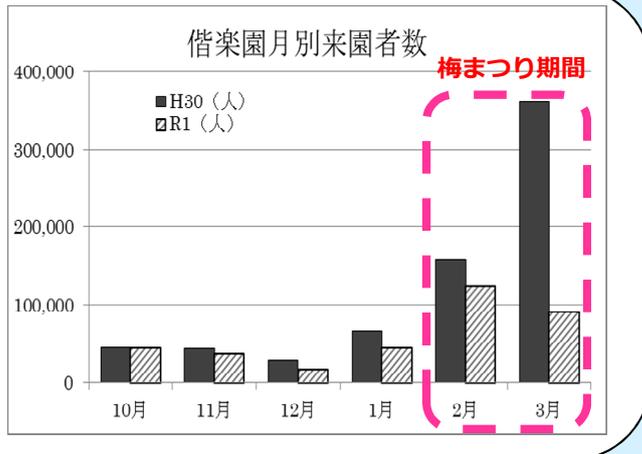


# 偕楽園秋の特別ライトアップで新たなにぎわいの創出

— 通年での観光誘客に向けた取組み —

## 偕楽園の課題

偕楽園は年間100万人が訪れるが、そのうち約半数の50万人は観梅期間(2～3月)に集中しており、通年での観光誘客に向けた取組みが求められている。



## 新たな取組み

通年での観光誘客に向けた新たな取組みとして、市内周辺施設と連携の元、秋の特別ライトアップを実施。

期間：令和2年11月6日(金)～8日(日)

会場：偕楽園、弘道館

概要：ライトアップのプロ監修の元、晩秋の夜に光の柱や色彩や音響、霧による幻想的な世界を演出。

## 周辺施設との連携により地域一体での相乗効果を発揮！



アダストリアみとアリーナ  
Bリーグ試合開催



県立歴史館  
いちようまつりイベント

令和2年11月7日(土),8日(日)にイベントを同日開催！

## 歴史観光施設 秋の光景観巡りをご案内しました



偕楽園拡張部  
もみじ谷ライトアップ



偕楽園本園  
光の柱や色彩、音や霧により幻想的な雰囲気



弘道館正門  
光の柱と鮮やかな色彩



水戸城大手門  
荘厳なライトアップ

## <偕楽園入園者数> 秋の特別ライトアップ(3日間)

前年比+5,500人  
(約70%アップ)

13,500

8,000

R1

R2

## <お客様の声>



30代 女性

- ・梅以外の偕楽園の魅力を見ることができました。
- ・街中から見える光の柱のインパクトにもビックリ！

## <SNSの反応>

オフシーズンの  
新たな賑わい創出  
により来園者数が  
大きく増加!!

- ・霧の中から光が溢れる演出がとってもオシャレ。
- ・バスケット観戦後はライトアップを見て水戸の夜を満喫♪
- ・すごく綺麗だったから、また開催してほしい！